

## 長岡市の人口等の現状について

### 目次

|           |      |
|-----------|------|
| 1. 人口     | p.01 |
| 2. 子育て・教育 | p.14 |
| 3. 医療     | p.18 |
| 4. 住環境    | p.20 |
| 5. 道路     | p.21 |
| 6. 観光・交流  | p.22 |
| 7. 産業     | p.23 |
| 8. 農業     | p.25 |
| 9. 環境     | p.26 |
| 10. 協働    | p.27 |
| 11. 財政    | p.28 |
| 12. 防災    | p.29 |

地方創生推進部 政策企画課

# 1. 人口

## ■ 11地域・男女別人口の比較（H26、R6）

### 11地域全てで人口が減少

- 平成26年4月1日時点と令和6年4月1日時点の人口を比較すると11地域全てで減少しており、10年間で約8%減少している。特に、山古志地域では35%以上減少。
- 山古志地域以外の全地域で女性の転出者が多く、市全体で男性より女性が約2,000人多く転出している。

| 地域名   | H26.4.1(住基人口※外国人含む) |         |         | R6.4.1(住基人口※外国人含む) |         |         | 比較       |          |          | 増減割合   |        |        |
|-------|---------------------|---------|---------|--------------------|---------|---------|----------|----------|----------|--------|--------|--------|
|       | 計                   | 男性      | 女性      | 計                  | 男性      | 女性      | 計        | 男性       | 女性       | 計      | 男性     | 女性     |
| 長岡市全体 | 279,507             | 136,288 | 143,219 | 256,731            | 125,794 | 130,936 | ▲ 22,776 | ▲ 10,494 | ▲ 12,283 | ▲8.1%  | ▲7.7%  | ▲8.6%  |
| 長岡地域  | 192,343             | 93,942  | 98,401  | 185,421            | 90,804  | 94,616  | ▲ 6,922  | ▲ 3,138  | ▲ 3,785  | ▲3.6%  | ▲3.3%  | ▲3.8%  |
| 中之島地域 | 12,067              | 5,916   | 6,151   | 10,608             | 5,249   | 5,359   | ▲ 1,459  | ▲ 667    | ▲ 792    | ▲12.1% | ▲11.3% | ▲12.9% |
| 越路地域  | 14,379              | 6,923   | 7,456   | 12,826             | 6,227   | 6,599   | ▲ 1,553  | ▲ 696    | ▲ 857    | ▲10.8% | ▲10.1% | ▲11.5% |
| 三島地域  | 7,124               | 3,431   | 3,693   | 6,287              | 3,091   | 3,196   | ▲ 837    | ▲ 340    | ▲ 497    | ▲11.7% | ▲9.9%  | ▲13.5% |
| 山古志地域 | 1,154               | 584     | 570     | 745                | 372     | 373     | ▲ 409    | ▲ 212    | ▲ 197    | ▲35.4% | ▲36.3% | ▲34.6% |
| 小国地域  | 5,870               | 2,825   | 3,045   | 4,316              | 2,111   | 2,205   | ▲ 1,554  | ▲ 714    | ▲ 840    | ▲26.5% | ▲25.3% | ▲27.6% |
| 和島地域  | 4,414               | 2,121   | 2,293   | 3,516              | 1,715   | 1,801   | ▲ 898    | ▲ 406    | ▲ 492    | ▲20.3% | ▲19.1% | ▲21.5% |
| 寺泊地域  | 10,410              | 5,053   | 5,357   | 8,169              | 4,008   | 4,161   | ▲ 2,241  | ▲ 1,045  | ▲ 1,196  | ▲21.5% | ▲20.7% | ▲22.3% |
| 栃尾地域  | 20,193              | 9,887   | 10,306  | 15,266             | 7,540   | 7,726   | ▲ 4,927  | ▲ 2,347  | ▲ 2,580  | ▲24.4% | ▲23.7% | ▲25.0% |
| 与板地域  | 6,753               | 3,311   | 3,442   | 5,778              | 2,837   | 2,941   | ▲ 975    | ▲ 474    | ▲ 501    | ▲14.4% | ▲14.3% | ▲14.6% |
| 川口地域  | 4,800               | 2,295   | 2,505   | 3,799              | 1,840   | 1,959   | ▲ 1,001  | ▲ 455    | ▲ 546    | ▲20.9% | ▲19.8% | ▲21.8% |

# 1. 人口

## ■長岡市の人口推移および将来推計

### 長岡市の総人口は、2020年から2050年にかけて27%(約7万人) 減少の見込み

- 長岡市の総人口は、1995年の293,250人をピークに、以降減少を続けており、2020年には266,936人となっている。国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」（以降、社人研推計）によると、2050年には197,104人（2020年の73%）にまで減少する見込みである。
- 年少人口（0～14歳）は減少を続けており、1985年の61,973人から、2020年には31,270人となっている。社人研推計によると、2050年には17,862人（2020年の57%）にまで減少する見込みである。
- 生産年齢人口（15～64歳）は1990年の192,279人から減少を続けており、2020年には149,389人になっている。社人研推計によると、2050年には98,143人（2020年の67%）にまで減少する見込みである。
- 老年人口（65歳以上）は増加を続けており、1985年の37,199人から、2020年には83,371人となっている。社人研推計によると、2040年の84,271人をピークに、2050年には81,099人（2020年の97%）となる見込みである。



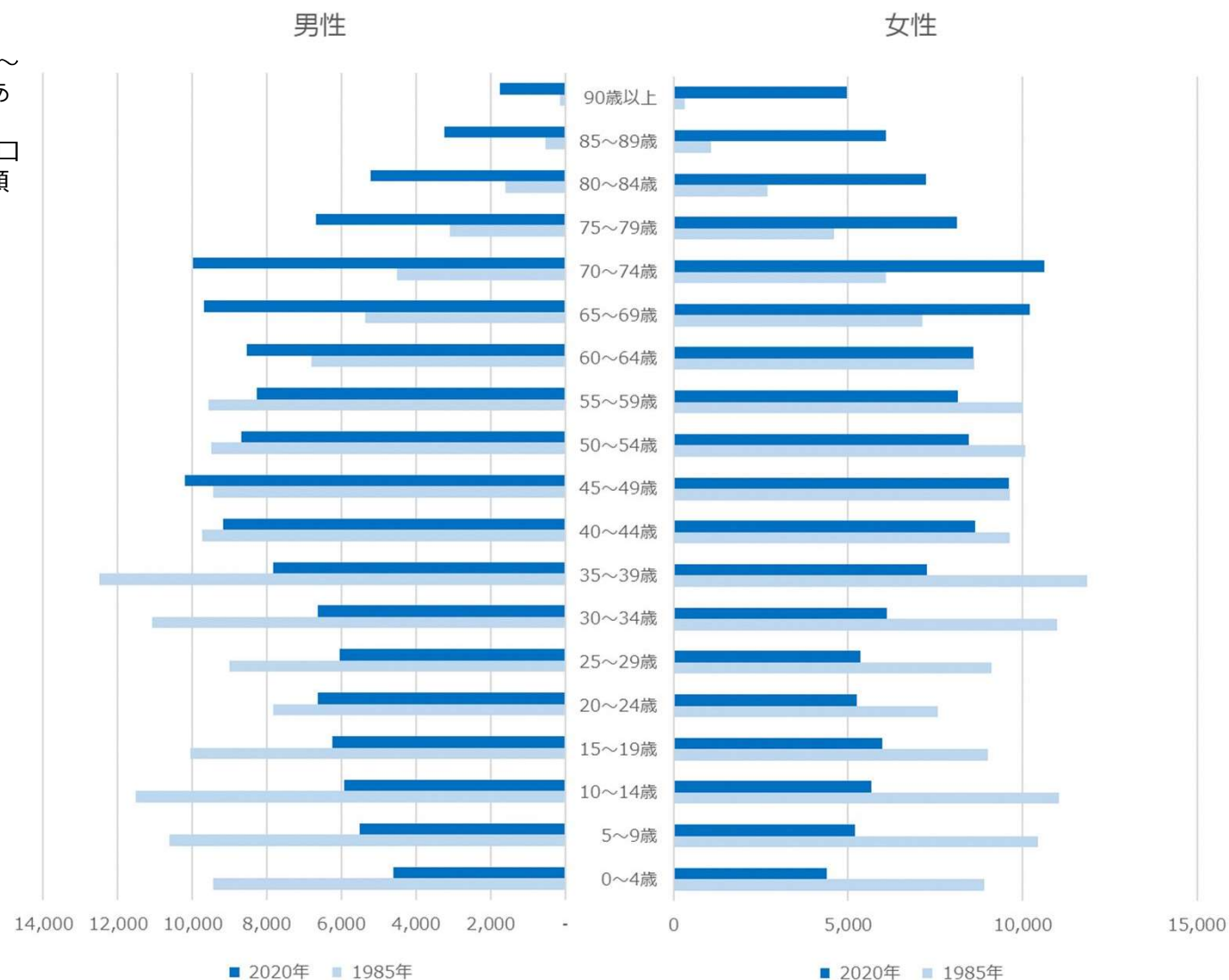
【出典】  
1995年～2020年：国勢調査（総務省統計局）  
2025年～2050年：日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

# 1. 人口

## ■ 5歳階級別人口ピラミッドの推移（1985年、2020年）

### 老年人口の増加が顕著

- 1985年の5歳階級別人口は男女ともに0～19歳と30～39歳の人口が多く、60歳以上の人口は少ない傾向である。
- 一方、2020年は1985年と比較すると、0～39歳の人口が少なく、65歳～74歳をはじめとした老年人口が多い傾向を示している。



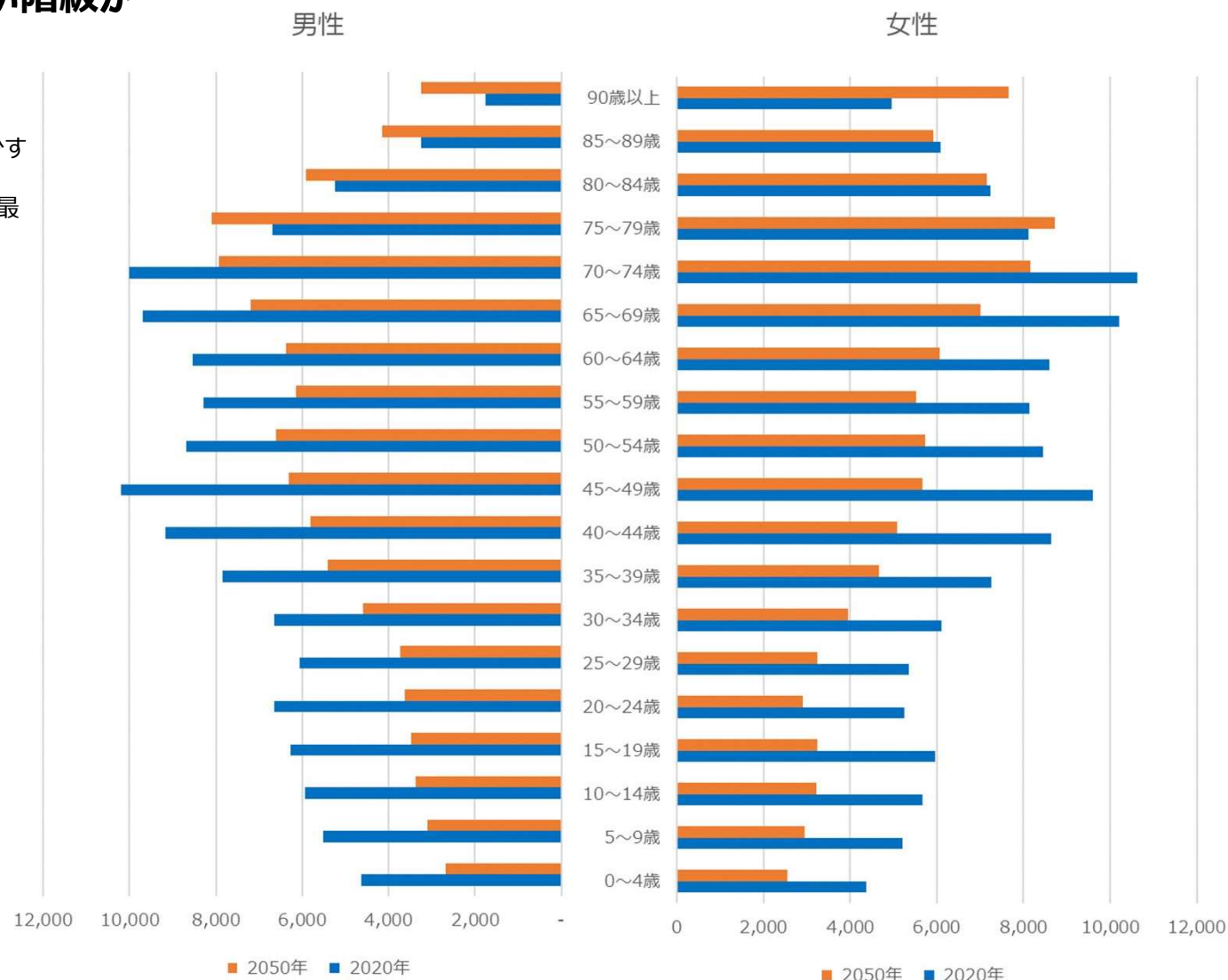
【出典】 国勢調査（総務省統計局）

# 1. 人口

## ■ 5歳階級別人口ピラミッドの将来推計（2020年,2050年）

### 2050年には、人口構成で最も多い階級が70～79歳に

- 社人研推計によると、2050年の5歳階級別人口は、2020年に比べると、男女ともに0～74歳まで全て減少するみこみである。
- 一方、75歳以上は増加する傾向であり、人口構成で最も多い階級が70～79歳となっている。



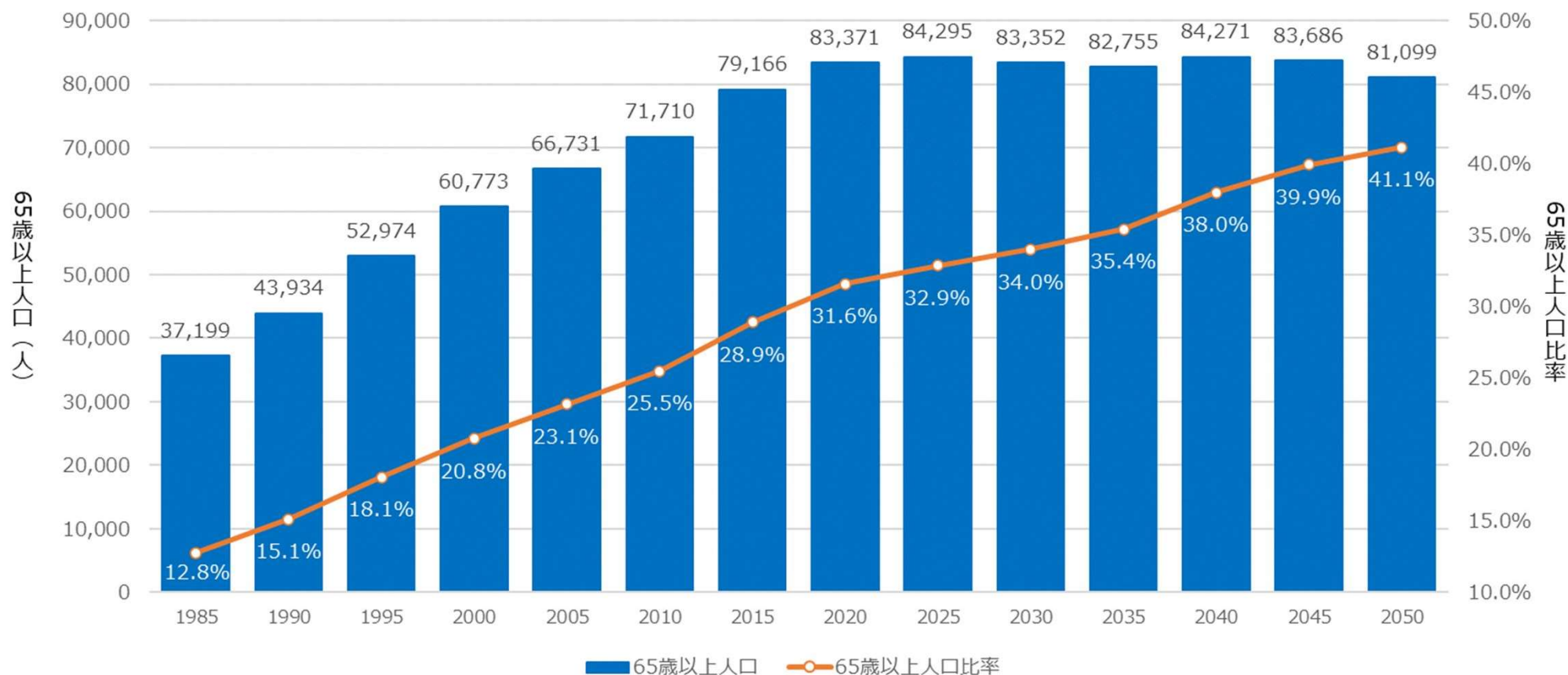
【出典】  
2020年：国勢調査（総務省統計局）  
2050年：日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

# 1. 人口

## ■ 65歳以上人口比率の推移

### 65歳以上人口比率は増加を続け、2050年には41.1%に達する見込み

- 長岡市の全人口に占める65歳以上人口比率は増加を続けており、1985年の12.8%から、2020年には31.6%となっている。
- 社人研推計によると、65歳以上人口は2040年をピークに減少するものの、65歳以上人口比率は増加を続け、2050年には41.1%になる見込みである。



【出典】 国勢調査（総務省統計局）

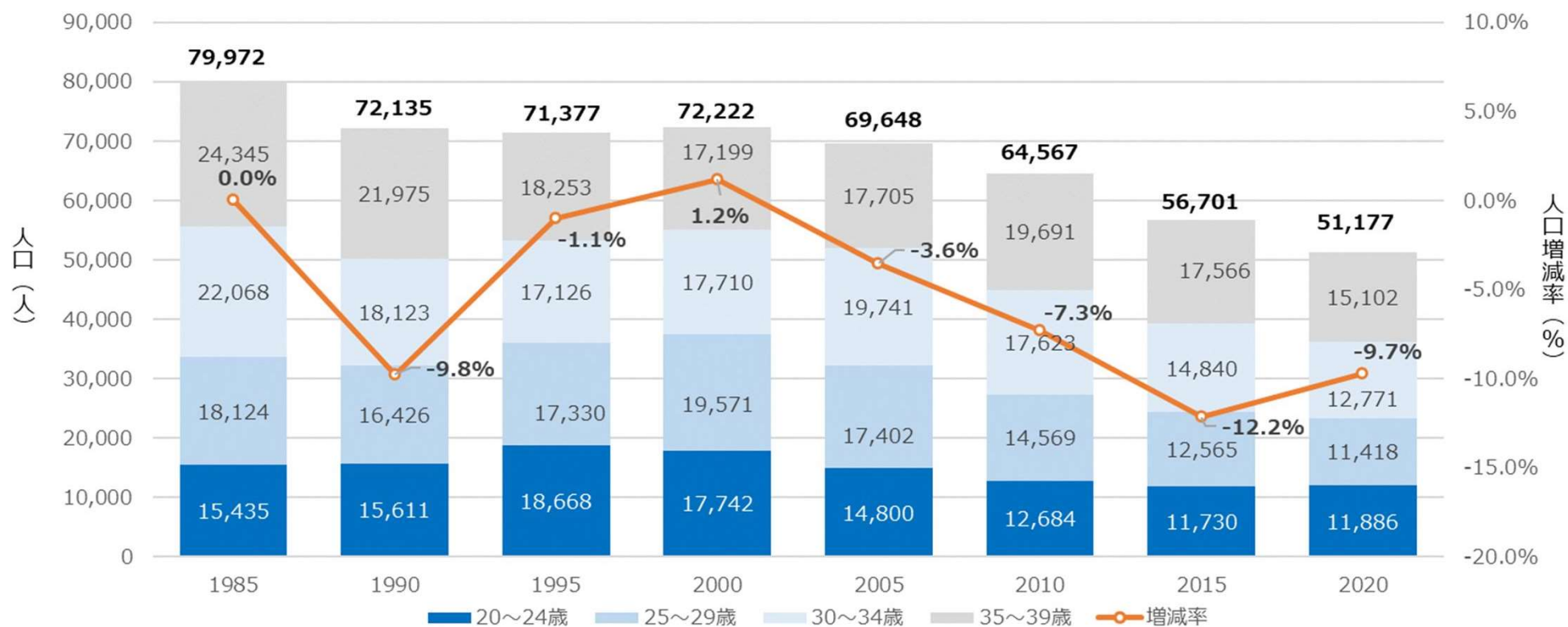


# 1. 人口

## ■ 若年人口（20～39歳）と人口増減率の推移

### 若年人口（20～39歳）は、1985年から2020年にかけて63%減少

- 長岡市の若年人口（20～39）は、減少傾向にあり、1985年で79,972人から2020年には51,177人と、1985年の64%まで減少している。
- 特に2005年以降は、若年人口の減少率が高くなっており、2010年から2015年にかけては12.2%、2015年から2020年にかけては9.7%減少している。



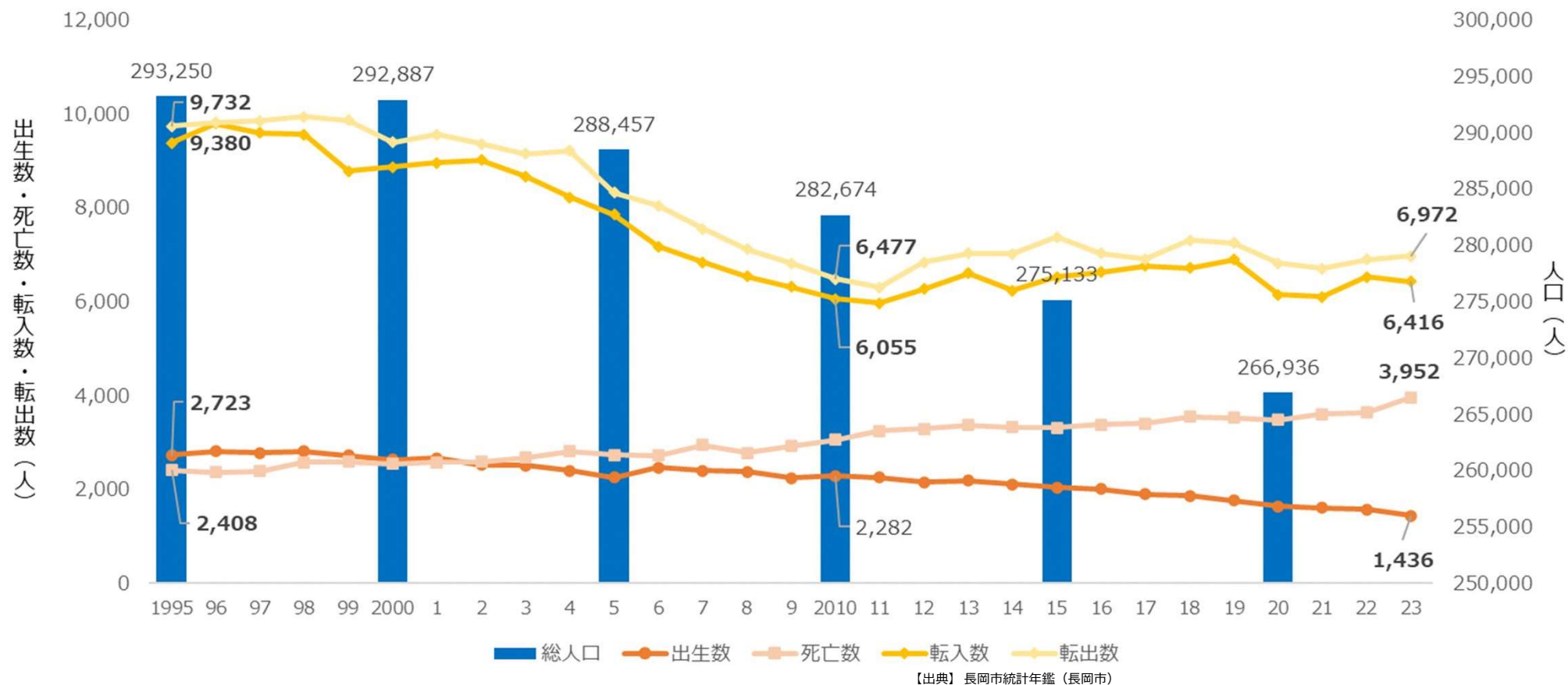
【出典】 国勢調査（総務省統計局）  
※増減率：20～39歳の5年前と比較した場合の増減率

# 1. 人口

## ■ 出生数・死亡数、転入数・転出数の推移

### 死亡数増加と出生数減少による自然減の拡大と転出数が転入数より多い社会減が継続

- 出生数は2,723人（1995年）から1,436人（2023年）に減少している。死亡数は2,408人（1995年）から3,952人（2023年）に増加している。2002年以降は出生数と死亡数の差が開き続け、自然減が拡大している。
- 1995年と2023年を比較すると、転入数は9,380人から6,416人、転出数は9,732人から6,972人とともに減少しているが、転出数が転入数より多い転出超過が続いている。



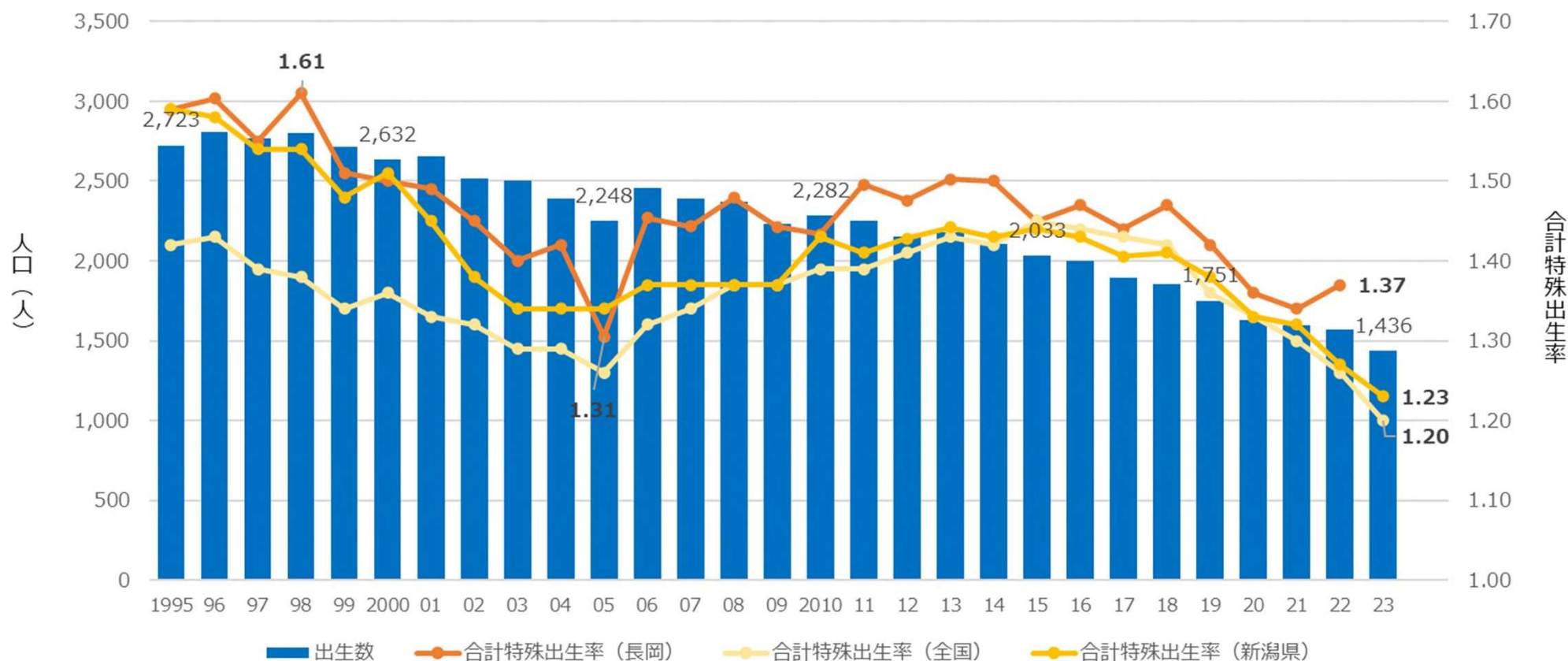


# 1. 人口

## ■ 出生数と合計特殊出生率の推移

### 出生数は1995年から2023年にかけて半数程度に減少し、合計特殊出生率も1.37まで減少

- 長岡市の出生数は、2,723人（1995年）から1,436人（2023年）に減少している（約48%減）。
- 合計特殊出生率も減少傾向であり、2005年に1.31まで減少を続けたものの、2011年には1.50まで回復した。その後、2018年以降は再度減少し、2022年は1.37%となっている。なお、2010年以降は、全国、新潟県の双方よりも高い合計特殊出生率となっている。



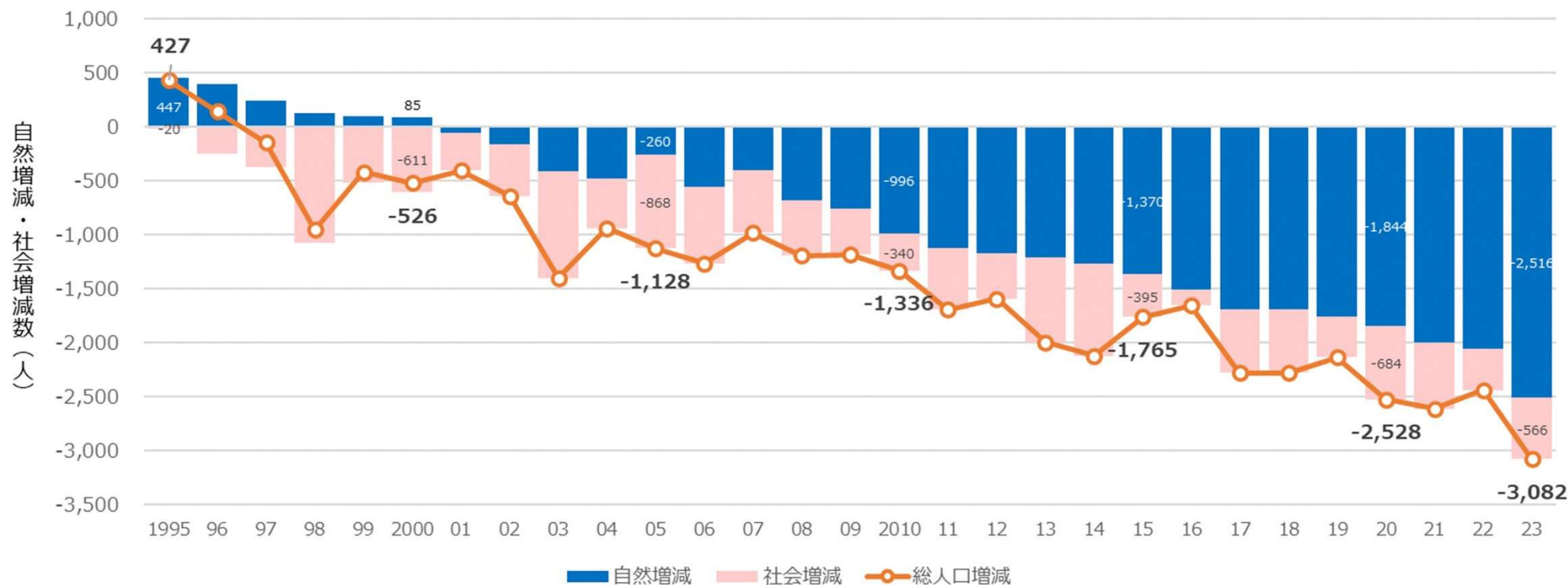
【出典】  
出生数：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省統計局）  
合計特殊出生率：令和5年福祉保健年報（新潟県）

# 1. 人口

## ■ 自然増減と社会増減の推移

### 自然減数は年々拡大傾向、社会減は一定幅で継続

- 長岡市は2000年までは自然増であったが、2001年以降は自然減に転じている。減少人数は年々増加しており、2023年には2,516人の自然減となっている。
- 1995年以降社会減がつづいており、2023年には566人の社会減となっている。



【出典】  
出生数：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省統計局）

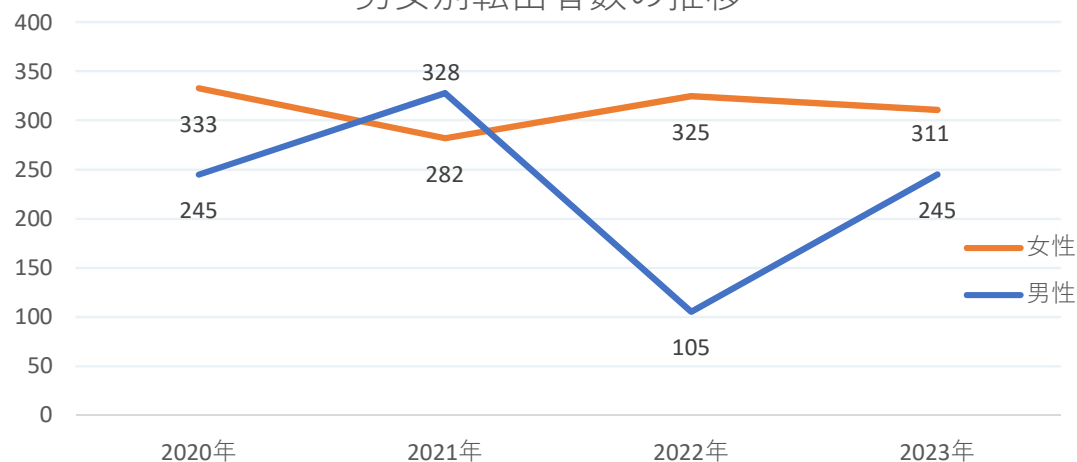
# 1. 人口

## ■ 若年人口（10-39歳）の転出者数の推移と転出先

### 2020年以降女性の転出数が高止まりしている状況、男女ともに約3割が首都圏に転出

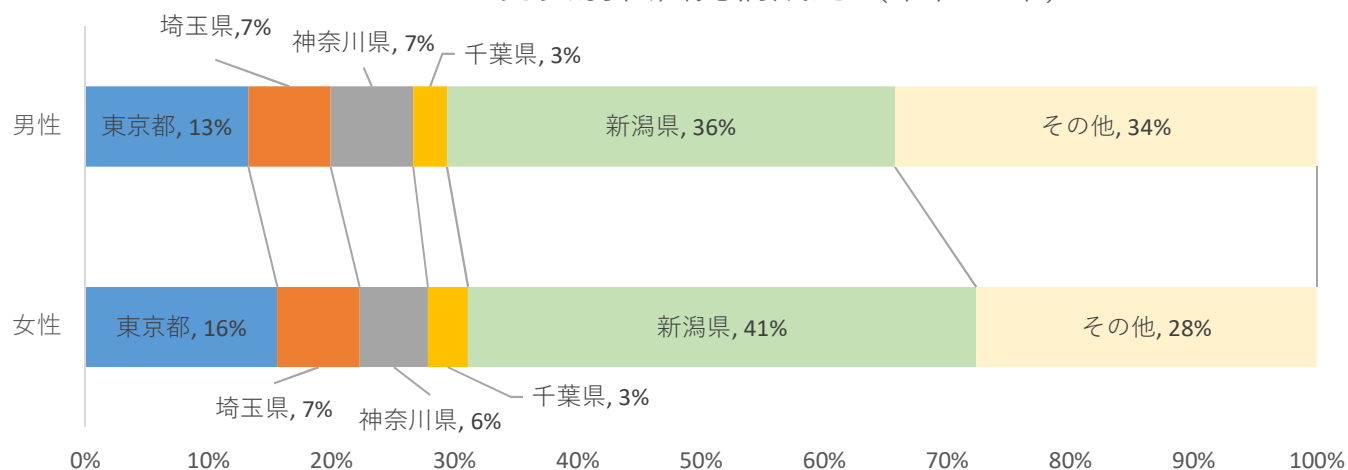
- 2021年は男性の転出数のほうが多いものの、2020年以降女性の転出数が高止まりしている状況が続いている。
- 男女ともに1都3県への転出が約3割を占め、そのほか約4割が県内に転出している。

男女別転出者数の推移

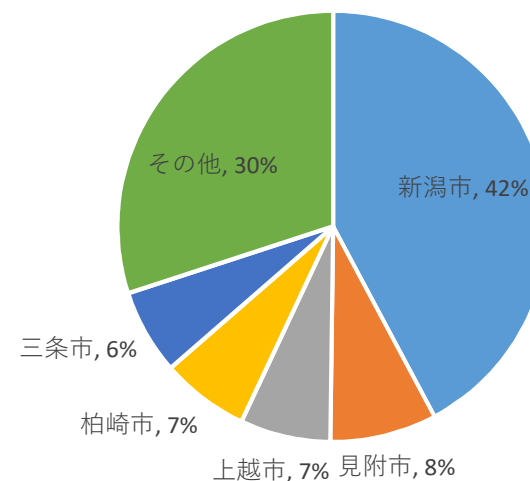


【出典】長岡市住民基本台帳 転出入者情報

男女別転出先構成比（令和5年）



県内転出先の割合（令和5年）

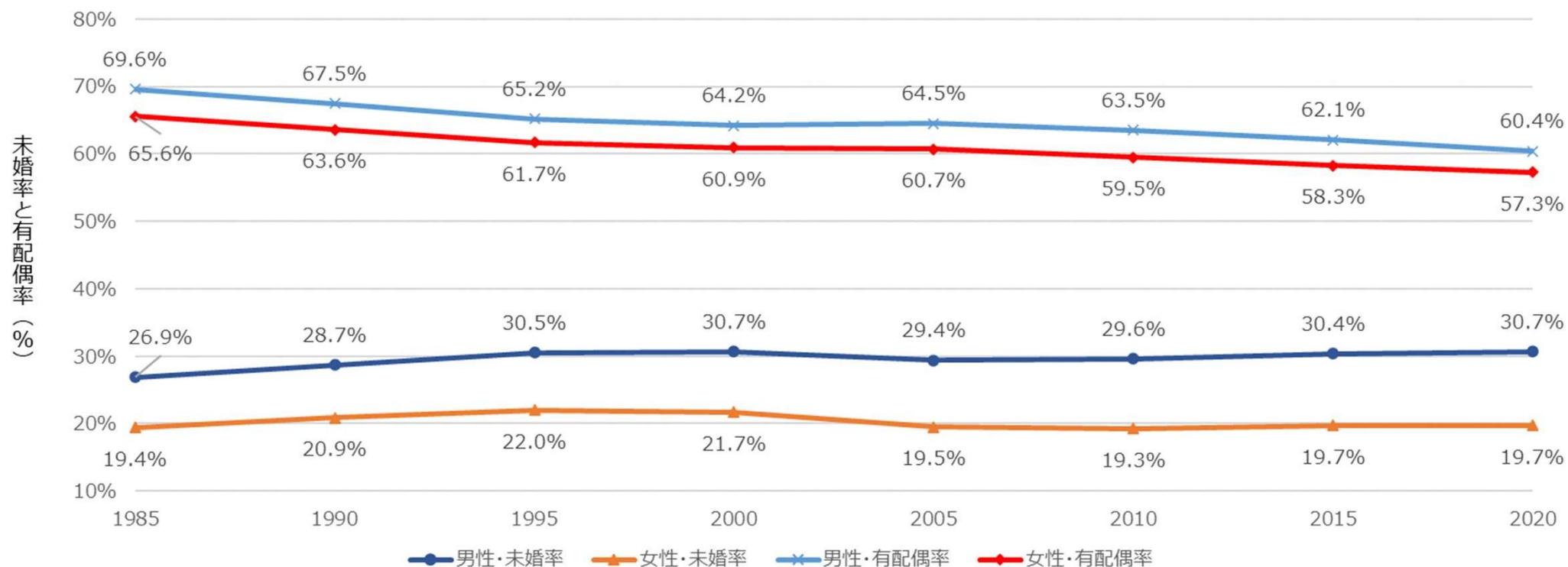


# 1. 人口

## ■ 男女別の未婚率と有配偶率の推移

### 有配偶率は減少傾向、未婚率は横ばい

- 未婚率、有配偶率ともに、男性のほうが高い割合で推移している。
- 未婚率は男女ともに横ばいであり、2020年には男性は30.7%、女性は19.7%となっている。
- 有配偶率は男女ともに減少傾向にあり、2020年には男性は60.4%、女性は57.3%まで減少している。



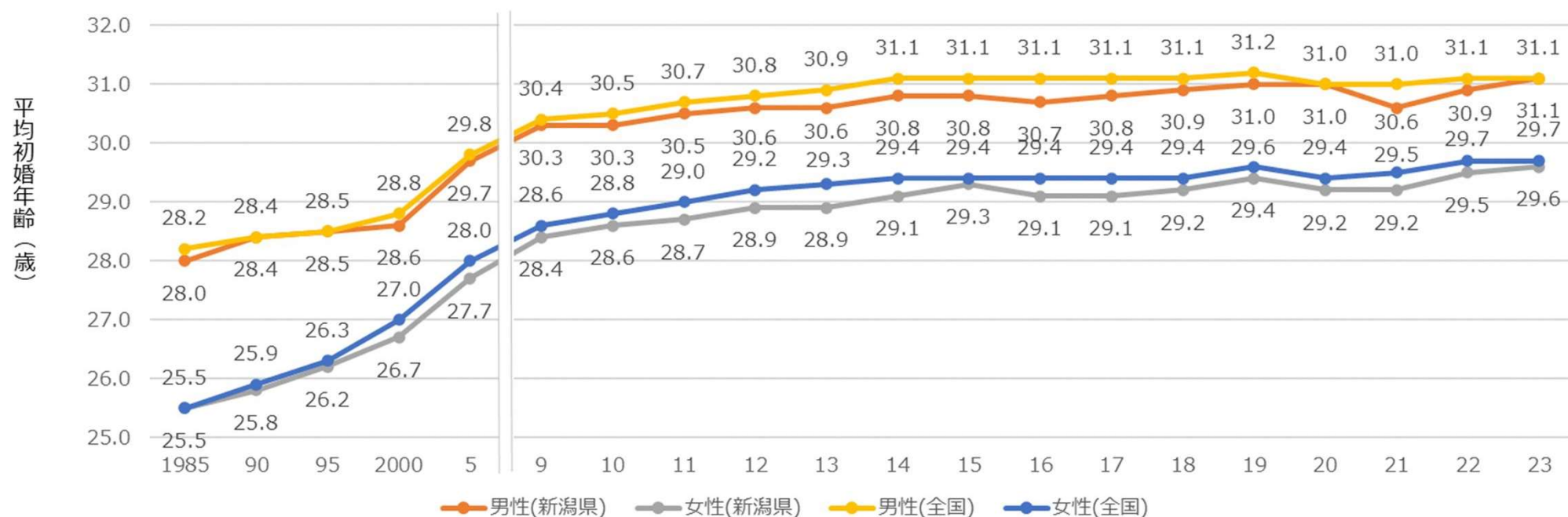
【出典】長岡市統計年鑑（長岡市）

# 1. 人口

## ■ 男女別平均初婚年齢の推移（新潟県、全国）

### 新潟県は全国に比べ平均初婚年齢が男女ともに若干低い、女性の平均初婚年齢は高くなる傾向に

- 新潟県は全国平均より、平均初婚年齢はやや低くなっており、1985年以降概ね同じ傾向で推移している。
- 新潟県の男性の平均初婚年齢は2014年の30.8歳まで緩やかに増加を続けていたが、その後は横ばい傾向にある。2021年以降は増加傾向にあり、2023年には31.1歳になっている。
- 新潟県の女性の平均初婚年齢は緩やかな増加傾向にあり、2023年には29.6歳になっている。



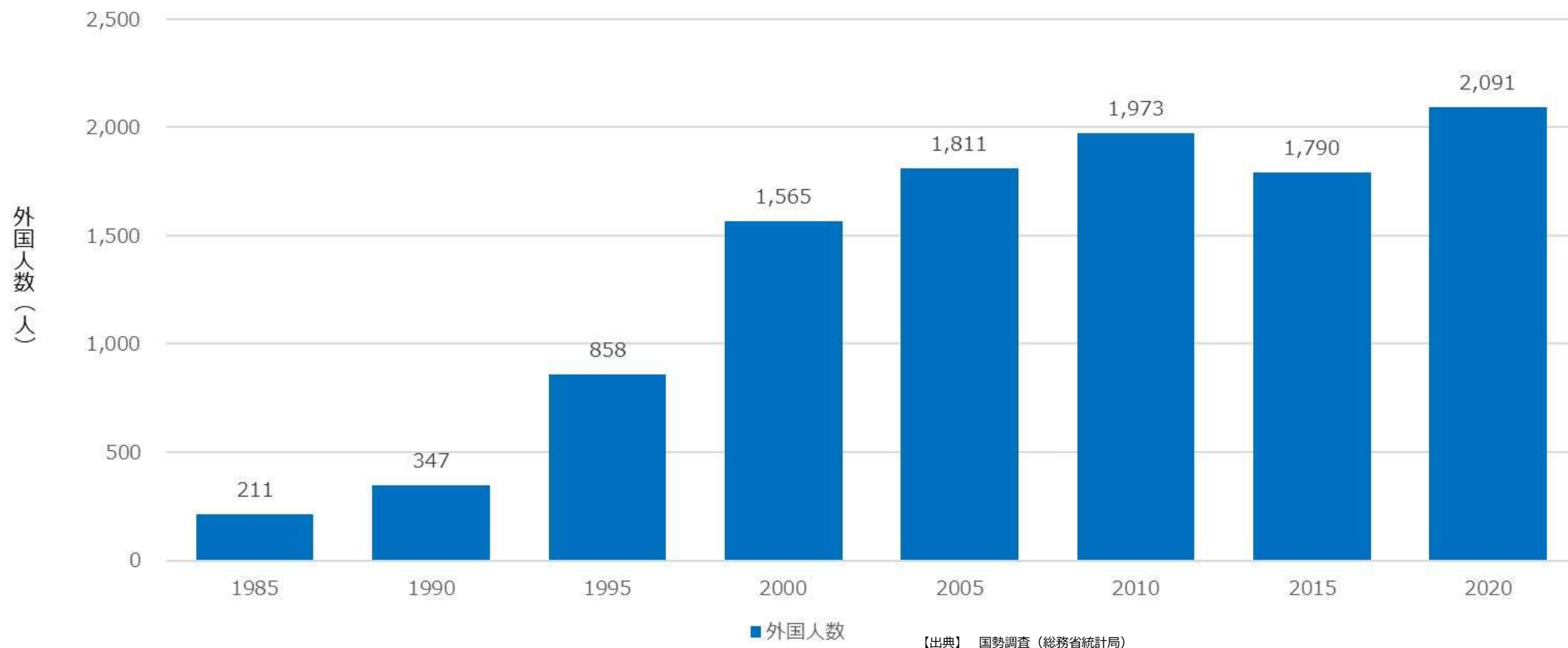
【出典】 令和5年度人口動態統計（新潟県）  
※長岡市単独の統計データがないため、新潟県と全国のデータを記載

# 1. 人口

## ■外国人住民数の推移

### 外国住民数は1985年から2020年にかけて約10倍増加

- 外国人住民数は年々増加しており、2000年では千人を超えて1,565人、2020年には2,091人となり1985年に比べて約10倍増加している。



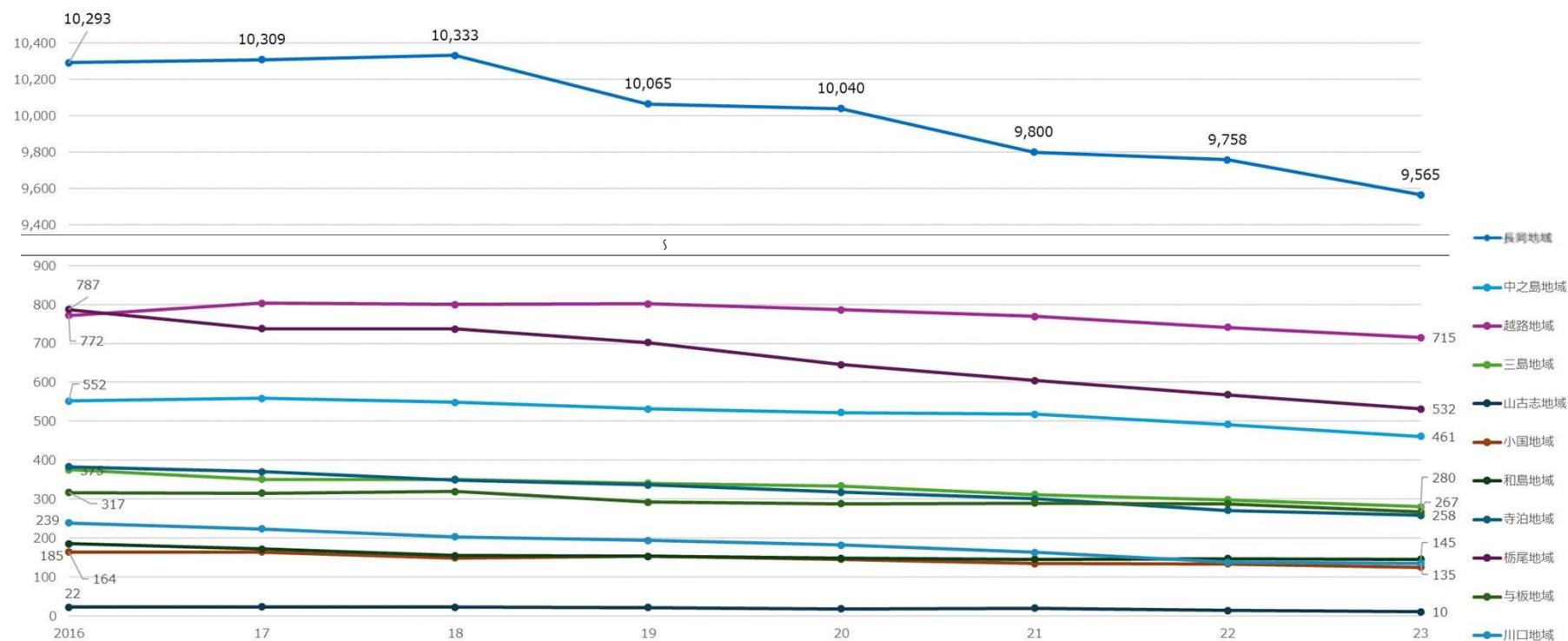


## 2. 子育て・教育

### ■ 11地区別学年別児童数（小学校）の推移

#### 全11地区で児童数が減少

- 小学校の児童数の7割以上を占める長岡地域は減少傾向にあり、2016年の10,293人から2023年には9,565人へと減少している。
- 栃尾、寺泊、山古志、川口の4地域では、児童数が30%以上減少



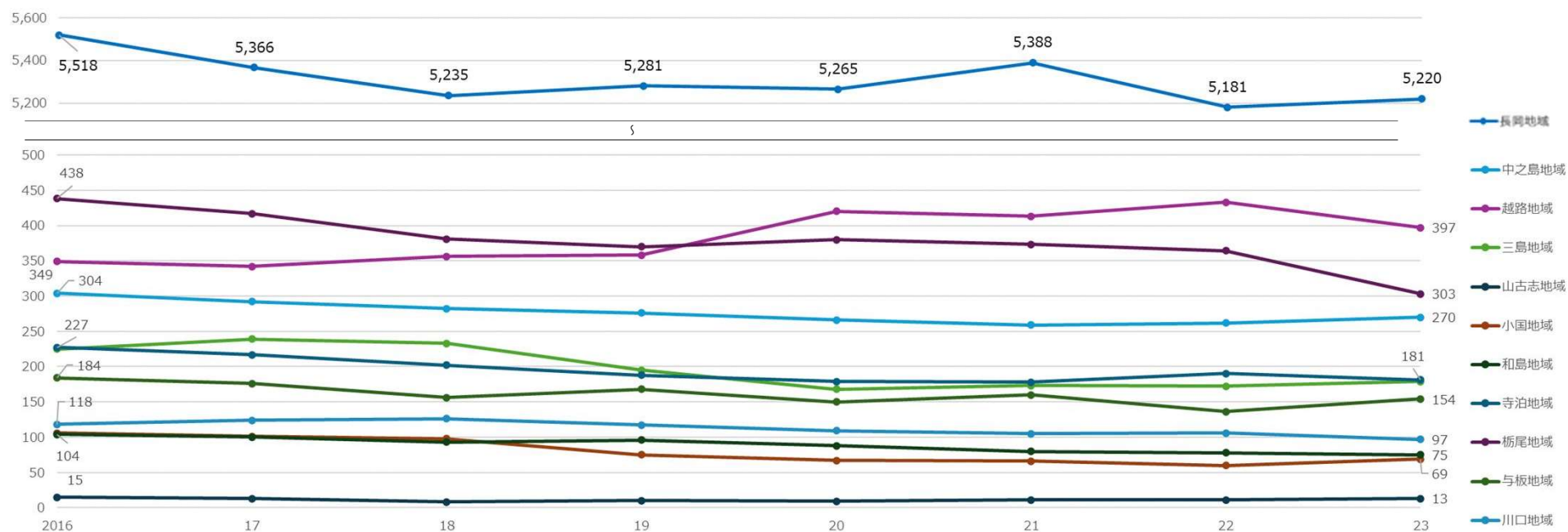
【出典】 長岡市提供資料

## 2. 子育て・教育

### ■ 11地区別学年別生徒数（中学校）の推移

#### 越路地域を除く10地域で生徒数が減少

- 中学校の児童数の7割以上を占める長岡地域は増加する年があったものの緩やかに減少をしており、5,518人（2016年）から5,220人（2023年）に減少している。
- 三島、小国、和島、寺泊、栃尾の5地域では生徒数が2割以上減少している。



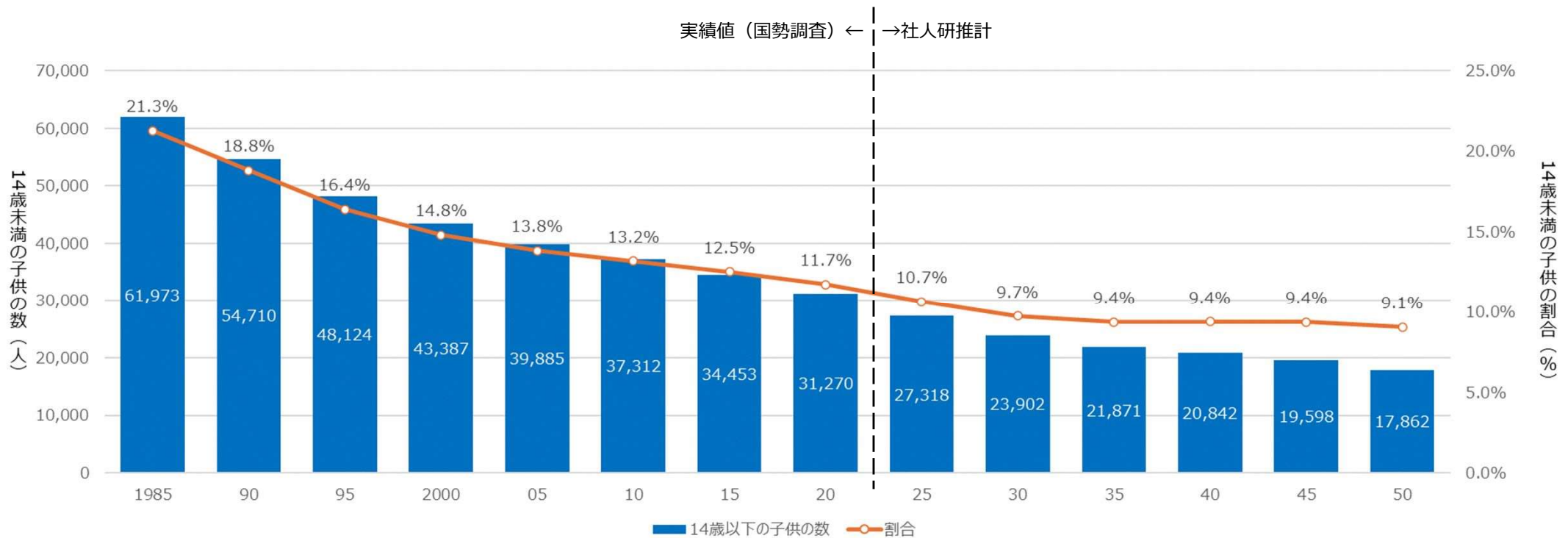
【出典】 長岡市提供資料

## 2. 子育て・教育

### ■年少人口（0～14歳）数と割合の推移と推計

#### 年少人口は減少を続け、全人口に占める割合は2050年には9.1%に

- 長岡市の年少人口（0～14歳）は減少を続けており、1985年の61,973人から、2020年には31,270人となっている。社人研推計によると、2050年には17,862人（2020年の57%）にまで減少する見込みである。
- 全人口に占める年少人口の割合も減少を続けており、1985年の21.3%から、2020年には11.7%となっている。社人研推計によると、2050年には9.1%（2020年の42%）にまで減少する見込みである。



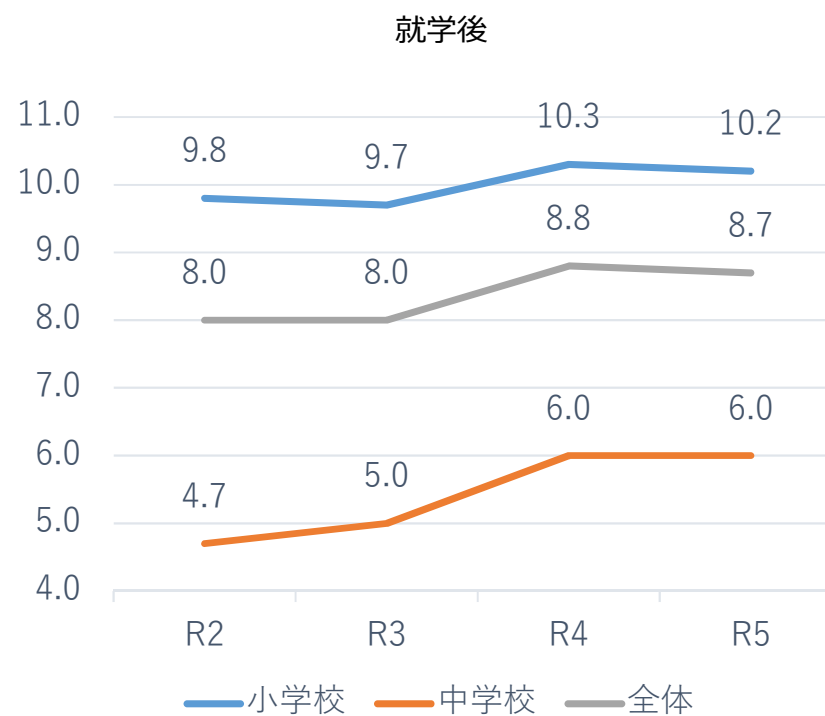
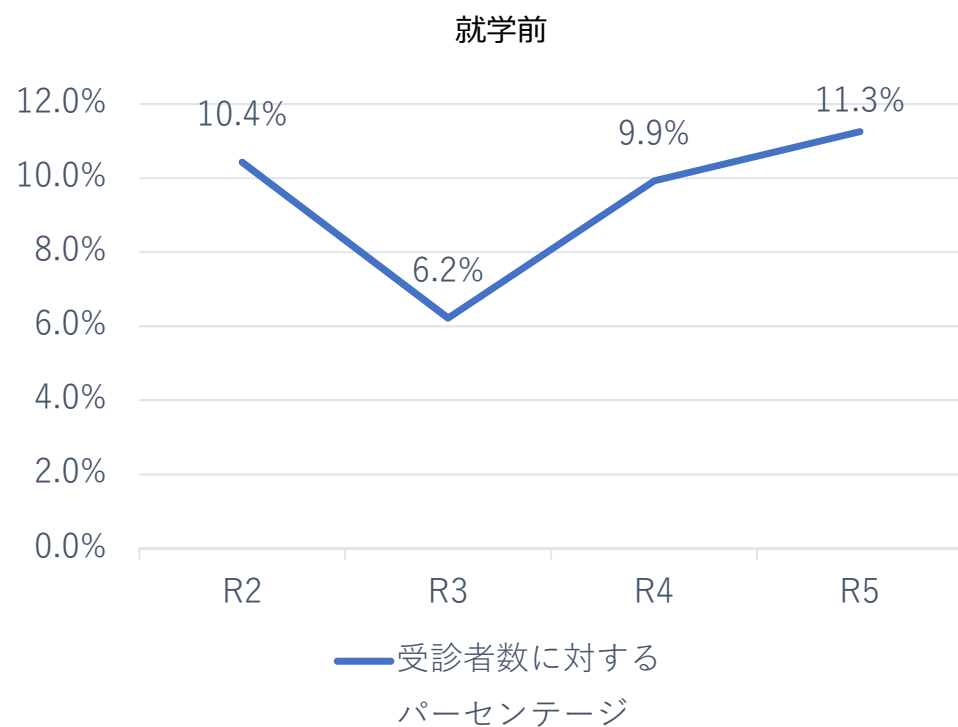
【出典】  
1995年～2020年：国勢調査（総務省統計局）  
2025年～2050年：日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）（国立社会保障・人口問題研究所）

## 2. 子育て・教育

### ■ 発達に特性のある子どもの現状

#### 就学後の発達に特性のある子どもの割合は年々増加している

- 受診者に対するパーセンテージは、おおむね1割程度となっており、増加傾向にある。
- 就学後の子どもでは、小学生は10%程度となっているが、中学生になると5%程度で推移している。



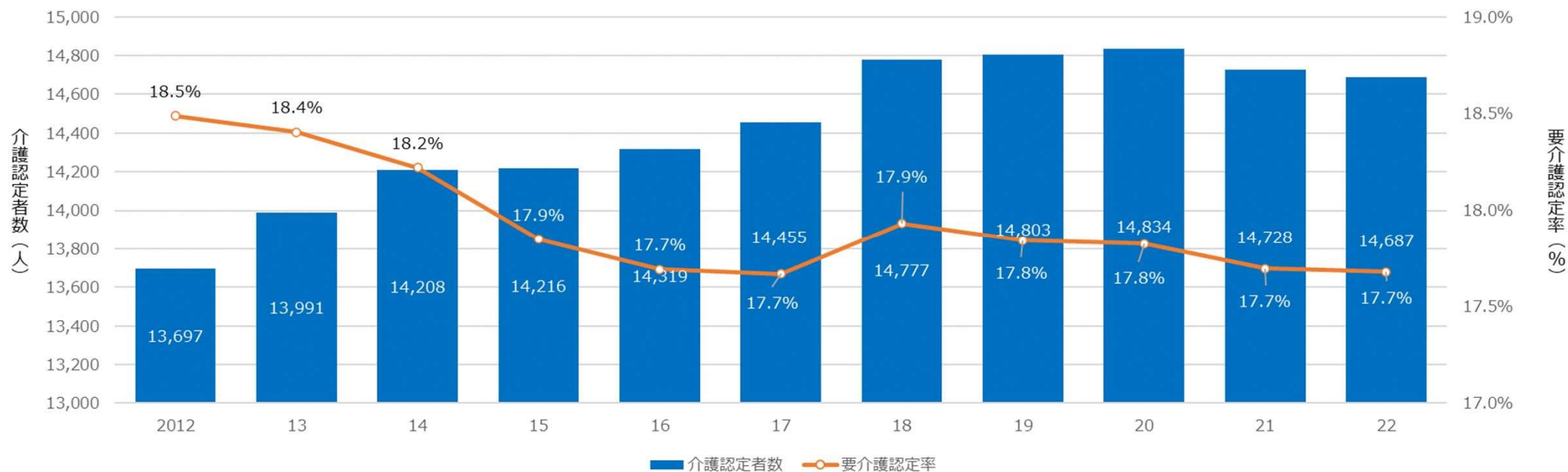
【出典】  
保健衛生の概要  
通常の学級に在籍する教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査

### 3. 医療

#### ■ 介護認定者数、要介護認定率の推移

##### 介護認定者数は2020年をピークに減少傾向、要介護認定率も継続的に減少傾向

- 長岡市の介護認定者数は増加を続け2012年の13,697人から2020年には14,834人となり、2020年をピークに以降減少し、2022年には14,687人となっている。
- 要介護認定率は減少傾向にあり、2012年の18.5%から2022年には17.7%まで減少している。



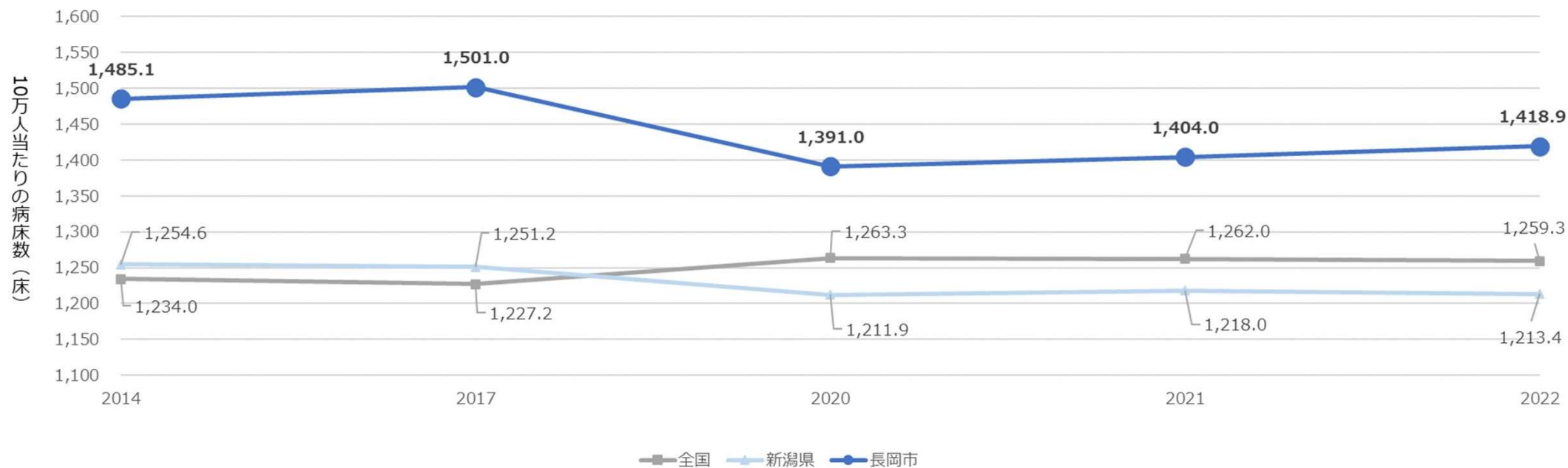
【出典】 介護保険事業状況報告 (厚生労働省)

### 3. 医療

#### ■ 医療資源（病床数）の推移

##### 長岡市の10万人あたりの病床数は全国、新潟県に比べ充実

- 長岡市の10万人あたりの病床数は、全国、新潟県に比べ経年的に多い状況である。
- 長岡市においては2020年から増加しており、2022年には1,418.9床となっている。



【出典】 医療施設調査 令和4年医療施設（動態）調査 全国編（厚生労働省）

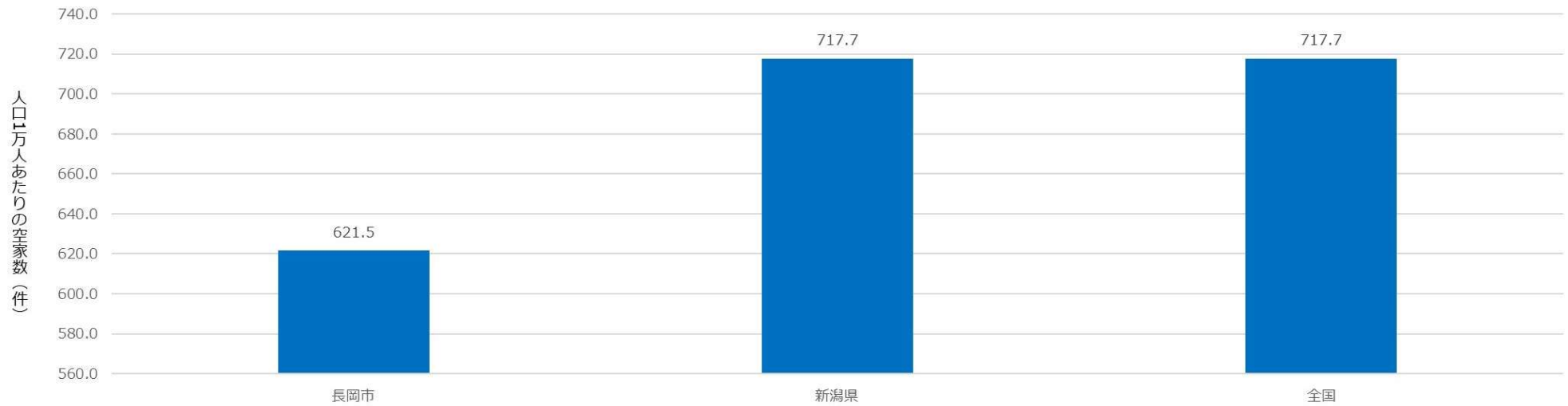


## 4. 住環境

### ■ 空家数の比較（2023年）

#### 長岡市の人口1万人あたりの空家数は、全国、新潟県よりも1割以上少ない

- 2023年の人口1万人あたりの空家数でみると、長岡市は、全国、新潟県の717.7件よりも13%少ない621.1件となっている。



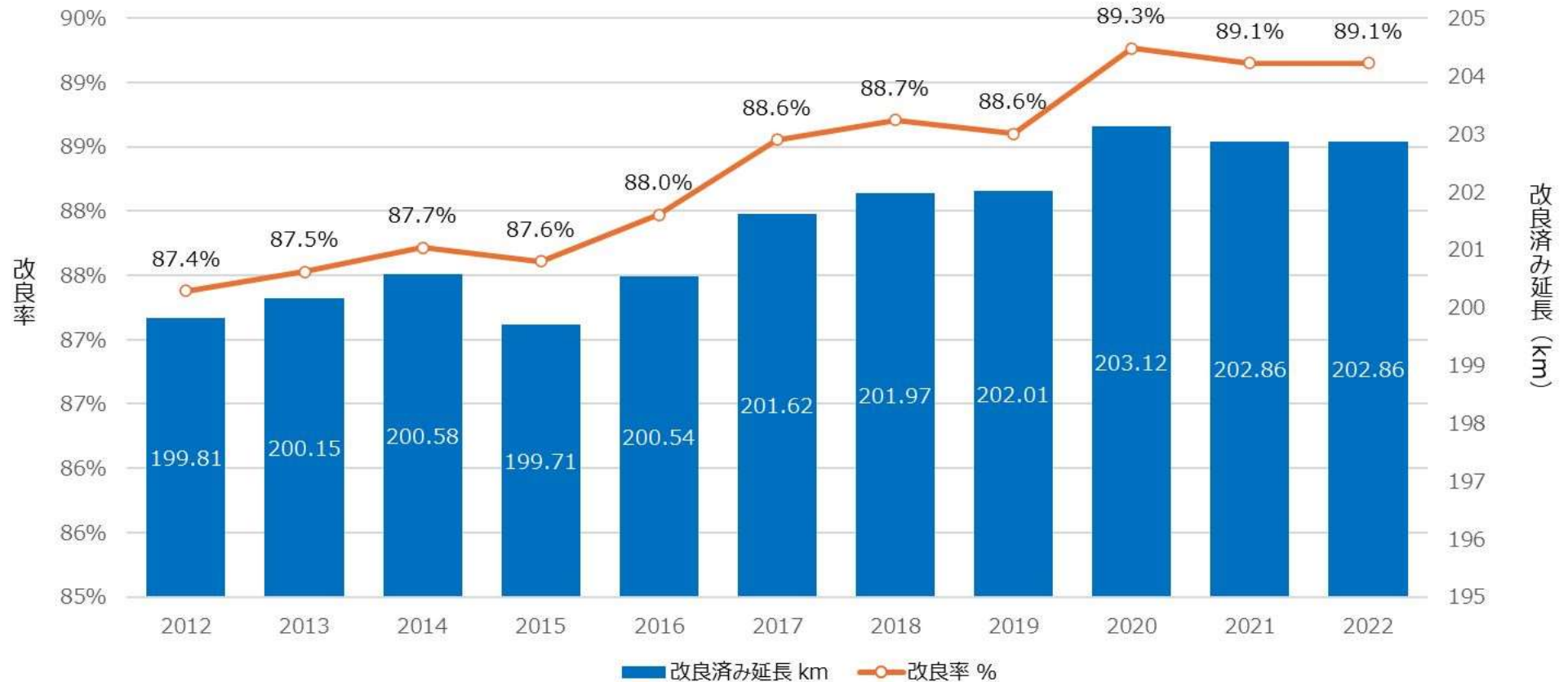
| 項目  | 空家数(件)    | 人口(人)       | 人口1万人あたりの空家数(件) |
|-----|-----------|-------------|-----------------|
| 長岡市 | 16,240    | 261,287     | 621.54          |
| 新潟県 | 155,300   | 2,163,908   | 717.68          |
| 全国  | 9,001,600 | 125,416,877 | 717.73          |

## 5. 道路

### ■ 都市計画道路整備率の推移

#### 都市計画道路整備は着実に進め整備率は9割で推移

- 長岡市の整備率は増加傾向にあり、2020年には89.3%に達し、以降は決定延長の見直しにより横ばい傾向であり、2022年には89.1%となっている。



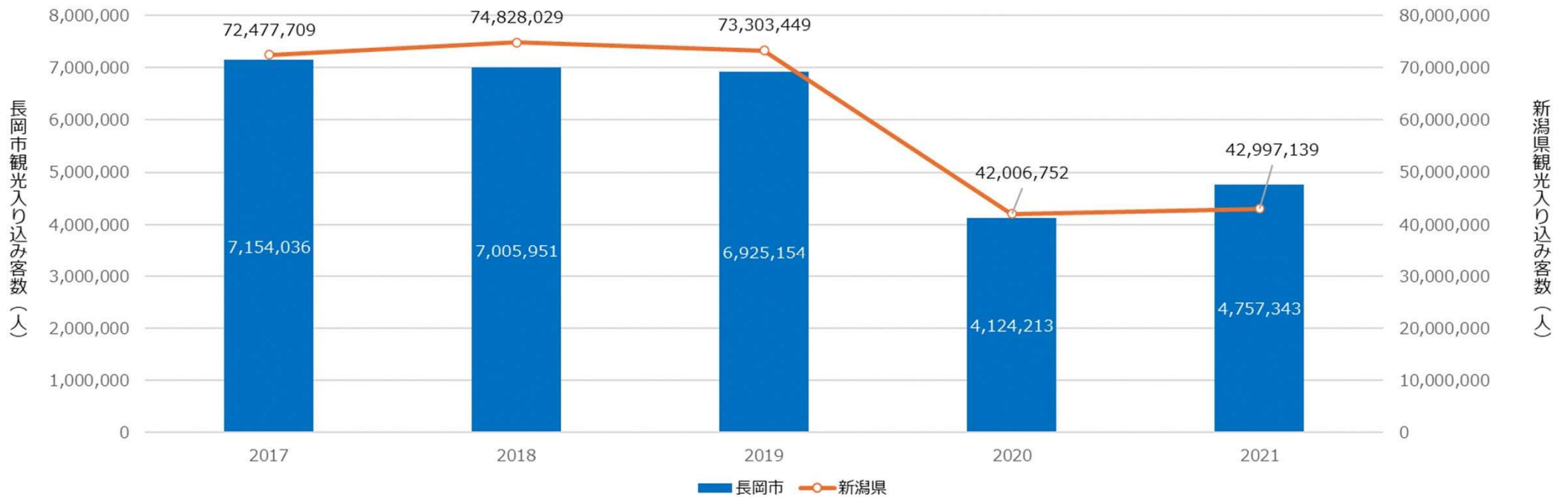
【出典】 長岡市提供資料

## 6. 観光・交流

### ■ 観光入込客数の推移

#### コロナ禍の影響で観光入込客数は減少するものの、2021年にかけては増加

- 2019年までの長岡市の観光入込客数は年間700万人程度で推移していたが、コロナ禍の影響により2020年には412万人にまで減少し、2021年にかけては増加し475万人となっている。新潟県全体の観光入込客数とも同じような傾向を示している。



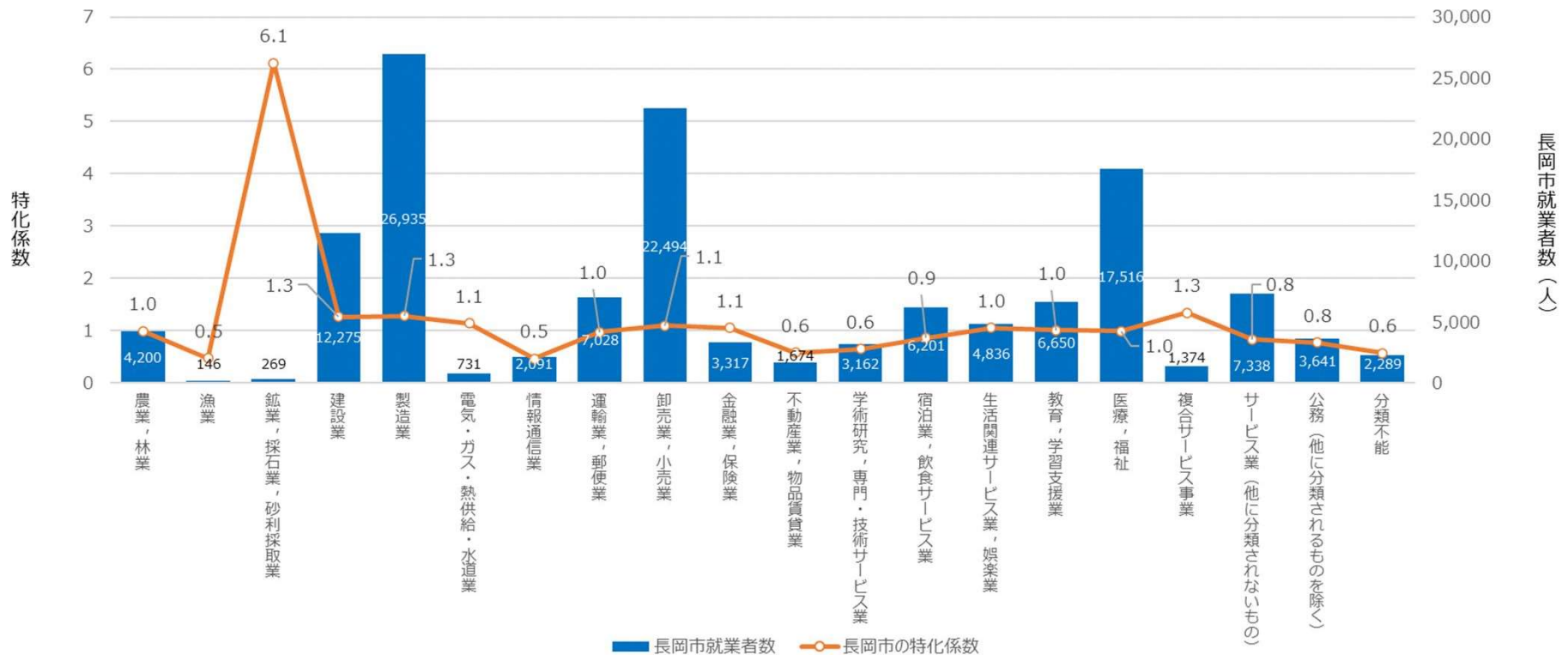
【出典】 新潟県観光入込客統計（新潟県）

## 7. 産業

### ■ 産業別就業者数の特化係数（2020年）

#### 特化係数は鉱業・採石業・砂利採取業で6.1と特に高く、次いで建設業、製造業、複合サービス業が高い

- 2020年における長岡市の産業別就業者数は製造業が最も多く26,935人で、次いで卸売業・小売業の22,494人、医療・福祉が17,516人となっている。
- 長岡市全体では鉱業・採石業・砂利採取業の就業者数は269人と、少ないものの特化係数は6.1%となっており、全国に比べ全産業に占める就業者数の割合は多い傾向を示している。次いで、建設業、製造業、複合サービス業の特化係数は1.3となっており、全国に比べ全産業に占める就業者数は高い割合となっている。



※用語説明

産業別就業者数の特化係数：

各地域における特定の産業の就業者数の集積度を示す指標で、次のように算出。1より大きければ、全国よりも大きい。

$$\text{特化係数} = (\text{各市町村内における当該産業の就業者数} \div \text{当該市町村内における全産業の就業者数}) \div (\text{全国の当該産業の就業者数} \div \text{全国の全産業の就業者数})$$

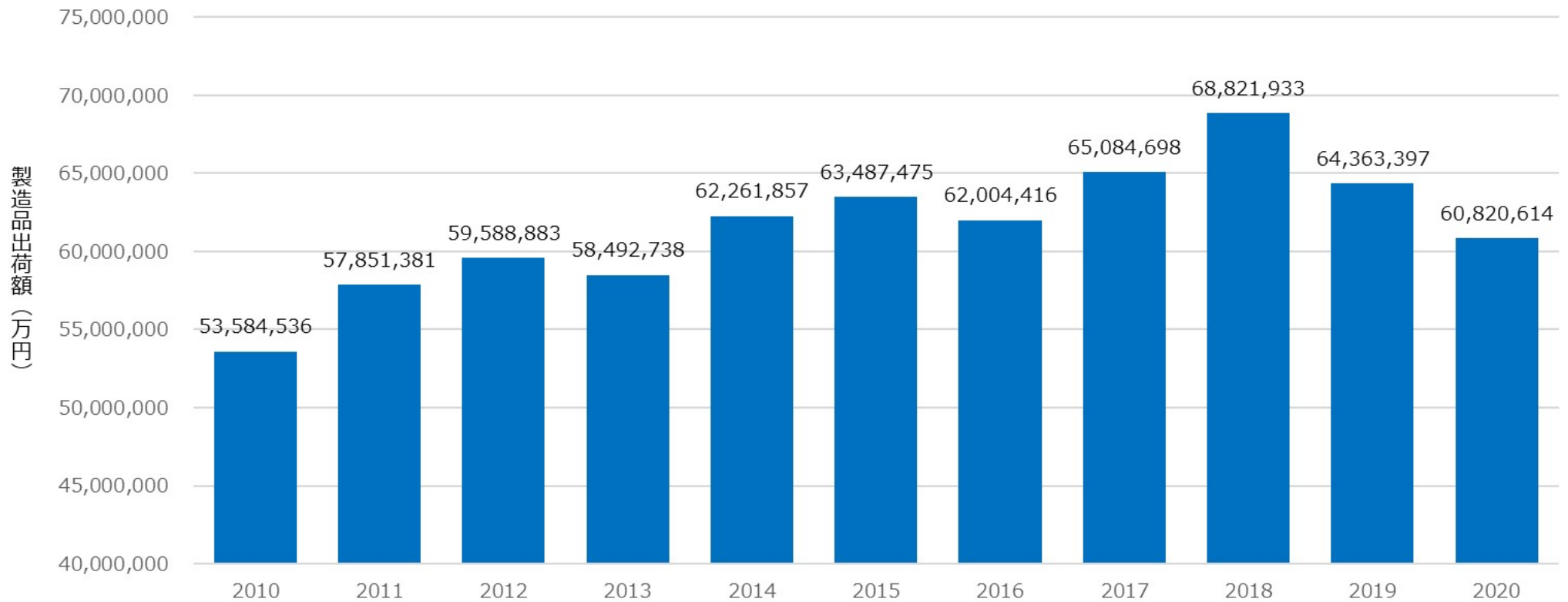
【出典】 国勢調査（総務省統計局）

## 7. 産業

### ■ 製造品出荷額の推移

#### 製造品出荷額は2018年から2020年にかけて1割減

- 2010年の5,358億円から2018年までは増加傾向にあり、6,882億円に達するものの、以降減少し、2020年には6,082億円となっている。



【出典】 経済センサス-活動調査（総務省統計局）

## 8. 農業

### ■ 一戸あたりの耕地面積の推移

#### 一戸あたりの耕地面積は2005年から2020年にかけて約2.5倍増となる4.8ha/戸に

- 長岡市の農業経営体数は減少傾向にあり、2005年の8,908戸から、2020年には、2005年から58%減の3,995戸となっている。
- それに伴い、一戸当たりの耕地面積は増加しており、2005年の2.0ha/戸から、2020年には約2.5倍となる4.8ha/戸となっている。



【出典】  
耕地面積：作物統計調査（農林水産省）  
農業経営体数：農林業センサス（総務省統計局）

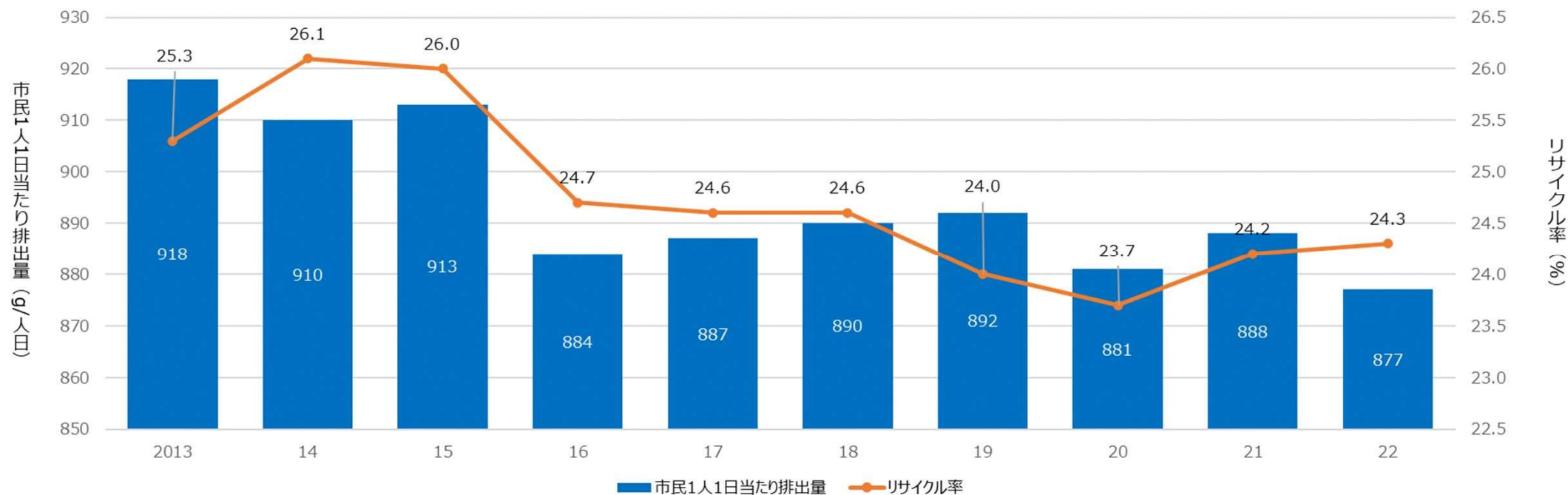


## 9. 環境

### ■ 廃棄物排出量、リサイクル率の推移

#### 2014年以降の1人1日当たりの排出量は横ばいで推移、リサイクル率は2020年より増加傾向

- 長岡市の1人1日当たりの排出量は減少傾向にあり、2013年の918g/人日から2016年には884g/人日となったが、以降は横ばい傾向となり、2022年には877g/人日となっている。
- リサイクル率は、2014年の26.1%をピークに2020年の23.7%まで減少していたが、以降増加傾向にあり2022年には24.3%となっている。



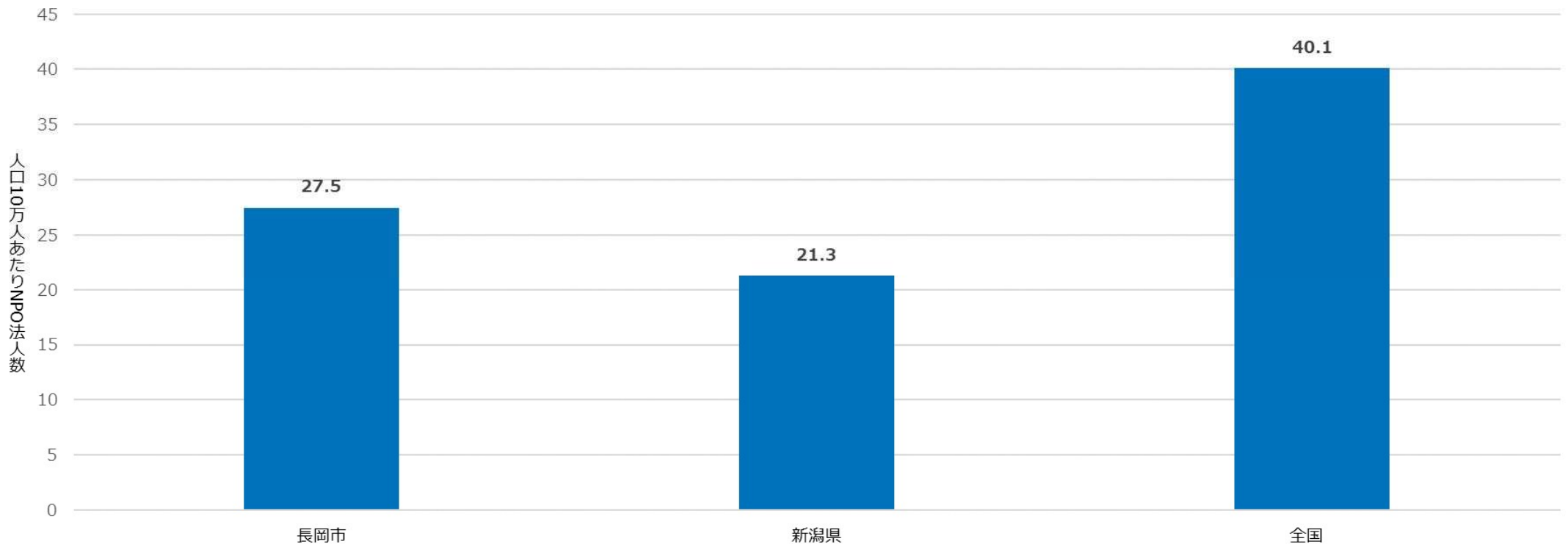
【出典】 長岡市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（中間見直し） 令和6年3月改定（長岡市）

## 10. 協働

### ■人口10万人当たりNPO数（2024年）

#### 長岡市の人口10万人当たりのNPO数は新潟県よりも多い27.5

- 人口10万人当たりのNPO数は、長岡市は27.5であり、新潟県の21.3より多いものの、全国の40.1よりは低くなっている。



【出典】

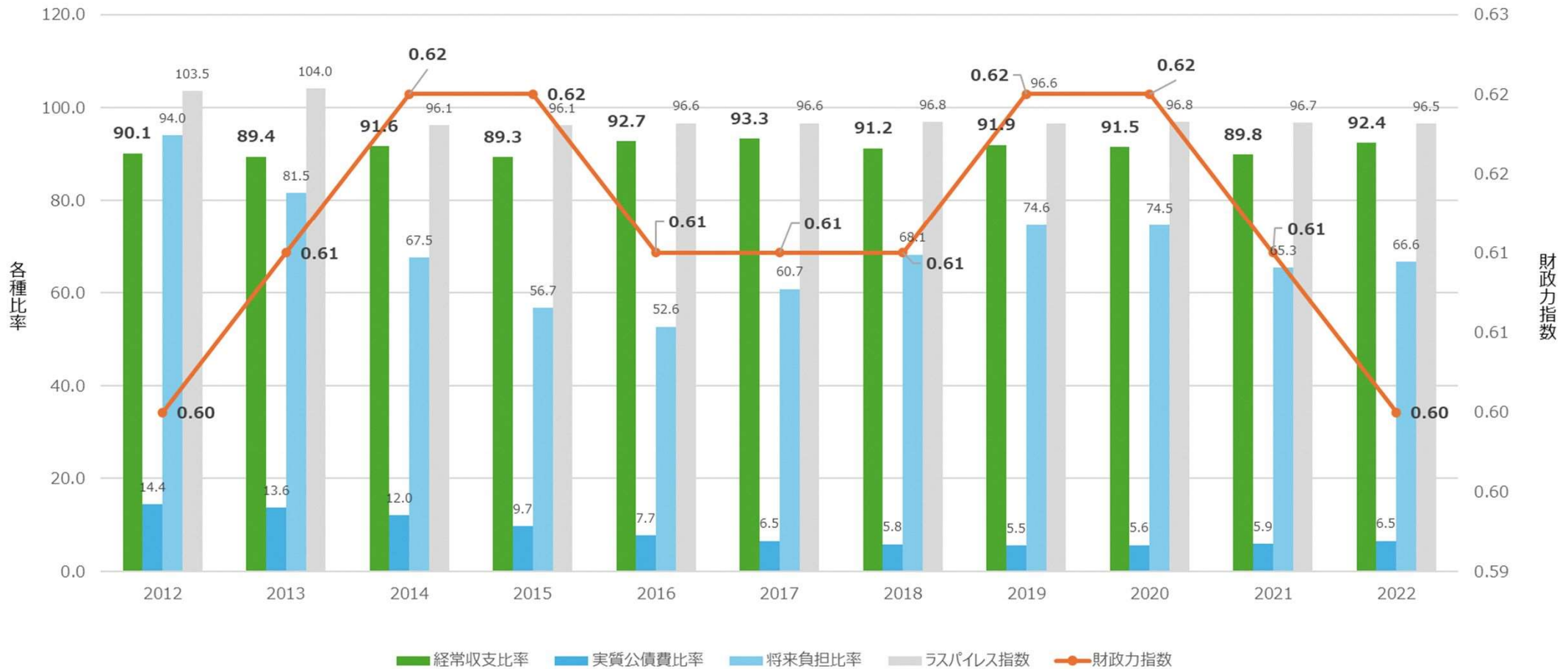
長岡市：長岡市のNPO法人一覧（R6.8.16）（長岡市）  
新潟県、全国：認証申請受理数・認証数(所轄庁別)（内閣府）

# 11. 財政

## ■ 財政力指数、経常収支比率の推移

### 財政力指数、経常収支比率ともに横ばい傾向

- 長岡市の財政力指数は0.60-0.62の中で推移しており、2022年には0.60となっている。
- 経常収支比率は90台で横ばいで推移しており、2022年には92.4となっている。



※用語説明

財政力指数：財政運営の自主性の大きさを表す指数。この指数1.00を超える団体は、財源に余裕があることになり、普通交付税の不交付団体となる。財政力指数 = (基準財政収入額) ÷ (基準財政需要額)

経常収支比率：地方税、地方交付税、譲与税・交付金などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数で、財政構造の硬直度を表すものとし

実質公債費比率：公債費による財政負担の度合いを示す指標

将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合

ラスパイレス指数：地方公務員と国家公務員の給料水準を、国家公務員の職員構成を基準として、学歴別、経験年数別に平均給料月額を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給料水準を指数

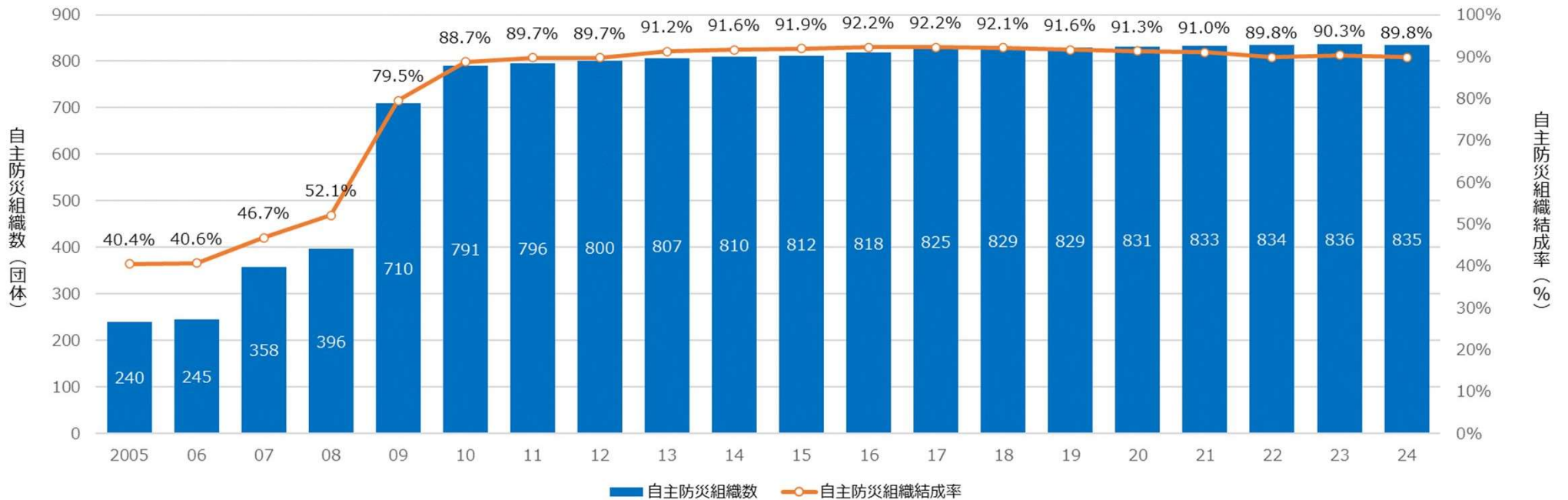
【出典】 主要財政指標一覧（総務省）

## 12. 防災

### ■ 自主防災組織結成率の推移

#### 自主防災結成率は近年90%近くで横ばい傾向

- 長岡市の自主防災組織数は2005年の240から2010年まで大幅に増加を続け791となったが、以降は微増傾向であり2024年では835となっている。
- 自主防災結成率も2010年の88.7%以降は横ばい傾向であり、2024年は89.8%となっている。



【出典】 自主防災結成状況（長岡市）